

未来へつなげる環境活動支援事業評価委員会 議事録

日時：令和6年3月22日（金） 14:00～16:10

場所：アクロス福岡 607会議室

出席者：評価委員 3名【依田会長、久留副会長、小出委員】

申請団体 6団体

事務局 4名

<各団体による活動報告>

(発表10分、質疑応答7分)

1 愛宕の森と緑を守る会

発言者	発言内容
委員	活動によって、森の環境が変わってきたということが理解できた。今年の活動では、昨年度より参加者は増えているのか。
団体	草抜きなどの定例作業とイベントの両方があるが、定例作業には学生もたまに来てくれている。また、会員でない市民の方も参加されるようになった。イベントについては、今年は初めてツリークライミングを実施し、20名程度の募集に対して50名の応募があった。来年度も実施したいと考えている。広報も充実させたので、他のイベントも15名から20名の参加があった。
委員	少しずつ参加者に広がりが生まれているようなので、このまま継続してほしい。
委員	樹木の保全活動をされているということでお聞きするが、先日生物多様性について聞く機会があり、その中で立ち枯れの問題が上がっていた。活動の中でそのような現状は見られるか。
団体	巡回している中も何本も見られる。最近問題になっているものにナラ枯れ、コナラ枯れがあるが、去年も枝落としや伐採を行った。できる範囲ではやっているが、専門家がいないと難しいところがあるので依頼して実施している。
委員	現在は補助金を受けて活動されているが、来年度の活動費はどのように考えているのか。
団体	来年度も現在の活動と歴史の遺産を守る活動を継続したいと考えている。（成木保全の完成を目指す、挿し木の継続、里山の生き物・蝶・昆虫類のモニタリング調査、探索路プロジェクトの継続、通常のメンテナンスを実施）資金は補助金を継続申請したいと考えており、会員の寄付やまちづくり協会の助成金など、全体で70から80万円の資金でやっており、来年度も同様の構成でできたらと考えている。

2 博多湾わかめプロジェクト

発言者	発言内容
委員	今年度はアンケートを取られて、意識の変化が確認できた点も良かった。博多湾の環境を知つてもらいたいという目標に対して、博多湾の状況がどのように変化していく、私たちはどうしなければいけないということを参加者に伝えているのかが、報告の中からは見えてこなかった。わかめを生育して、食べて、環境へ意識が向いたという点は理解できるが、博多湾の環境保全、改善のためにできることを、参加者にどのように伝えているのか。
団体	団体側から環境面でのお話をさしあげて、漁業者の方から変化の現状などお話いただいたが、参加者は未就学児が多くを占めており、中高生の参加は少ないので、詳しい話をすることが難しい。お配りした冊子で補完している状況である。以前は保健環境研究所まもるーむや福岡市立福岡女子高校に場所をお借りしていたが、使いづらい、手狭であるなどの事情から付近に適当な会場を確保することが難しく、会場である砂浜で拡声器を使用してお話しているが、詳細までお伝えすることが難しい。また時間的な都合もある。環境について詳細にお伝えできていない現状は課題に感じている。
委員	参加者の構成や場所の都合もあるとは思うが、小さなお子さんには簡単なことでも、例えば海を汚さないためには川を汚さないようにしないといけないよね、であるとか少しのことでよいので、状況が整えば、伝えることを目指していただきたい。わかめの生育する以上の意義が伝わると思う。
委員	トヨタソーシャルフェスが博多湾、マイクロプラスチックをテーマに開催しており、自分たちも小さなピンセットで拾うなどしている。わかめ以外にもマイクロプラスチックなども伝えられると良いと思う。姪浜漁業のお話が出ていたので、小学生の給食にも出るのりを取り入れるなどすると身近になると思うがどうか。
団体	のりについて漁業者からの話も聞いているが、期間が短く、朝も早く、非常に忙しいようだ。現状は難しいが、そういったことの組み合わせも考えていきたい。構成団体のひとつである博多夢松原の会では、長年海岸の清掃に取り組んでおり、短い時間ではあるがごみとの関連についてお話させていただいた。
委員	情報発信を強化されたとのことだが、効果は実感されているか。
団体	募集はすべてホームページ経由で行っているため、申込の手段としての電子化は進んでいる。ただ、参加者の動機は口コミが多い状況にある。
委員	SNS の話で言えば、Instagram は手軽で効果的だと思うが、どうか。

団体	現状 Facebook が得意な者がいたためそちらを利用しているが、今後検討していきたい。
委員	若者を捕まえるためにはやはり Instagram だと思う。
団体	今後の課題としていきたい。

3 ウエットランドフォーラム

発言者	発言内容
委員	昨年度にご報告いただいた冊子やグッズが工夫されていてとても良い印象がある。あさりの収穫量が減少しているとのことだが、やはり温暖化の影響だと考えているか。
団体	和白干潟で長くあさりの研究をしている方と一緒に活動をしているが、明確な理由はわからないと言っていた。昨年は8月に大雨が続いて、塩分濃度が下がったことが要因ではないかとのことだが、それだけが理由なのかはわからない。引き続き調査を実施して、2年前から生育調査をしている高校生の調査ともつきあわせてやっていきたい。和白干潟はアオサが多く生えているのでアオサがあさりの生育にどのような影響があるのかを調べようと考えており、一定の範囲からアオサを取り除いてその他の場所と比較していく予定である。
委員	干潟を知ってほしいという目的だけでなく、こどもたちの自由研究につながっているのがとても良いと思う。新しく参加することもたちは増えているのか。
団体	興味をもっててくれる参加者はいるが、干潟の調査は服が汚れてしまうので、新しい参加者も次は参加されない現状がある。
委員	人材育成という面で非常に面白い取り組みだと思う。小学校高学年からということだが、こういった事業は、小学生のときに興味が高く、中学生になると忙しくなってフェードアウトしていくという印象がある。ガタレンジャーのメンバーを全面に押し出した参加者募集の広報などは行っているのか。
団体	関心を持ってくれる方はいるが定着まではいかない状況にある。ただ、一般向けの観察会に小さなお子さんが参加して、4年生になったからガタレンジャーに入会したいと言ってくれる子や数年にわたって参加してくれる子、高校生のメンバーなど、何人か心強いメンバーはいるが、新しいメンバーがどんどん参加するというところまではいかない。
委員	大学のサークル活動のように、それぞれに役割を割り振って1年で交代

団体	させていくといった形をとると、継続して引き継がれていく傾向にある。そのようにすると良いのではないか。
委員	来年度はアーカイブ的に色々とまとめていきたいとのことだが、動画で残すなどは考えているのか。
団体	プロモーション動画など作成しており、今後は過去に撮りだめしたものを5分程度に編集していきたいと考えている。地域の歴史郷土研究会の方とお話する機会が増えていて、干潟に関する色々な話、地域の昔の産業や堤防の成り立ちなど、興味深い話を聞くので、そのあたりもまとめていきたいと思う。
委員	地域の方とも交流されていて、とても良い活動だと思うので継続していただきたい。

4 (特定非営利活動法人) アクションタウンラボ

発言者	発言内容
委員	イベントに参加してもらうだけでなく、環境をよくする生活につなげていこうという目標で活動されている点がとても良いと思う。家族ぐるみで小さなことから取り組むなど、温暖化の防止にも貢献できることからも継続していただきたいと思うが、団体としてはこの活動は継続されないのか。
団体	団体としては、継続しない予定である。今後引き継いでいけるかという点については検討を進めているところである。
委員	行動変容につながっている点は非常に良いと思う。大人向けがのびなかった理由はどのあたりだと考えているのか。
団体	参加者はほぼ学校に配布したちらしを見て来られている。アクションタウンラボの広報がこども向けで、大人向けが弱い点が改善点だと考えている。
委員	こども向けのイベントとしてうまく行っているようだが、地域の学校や学校教育との連携はあるのか。
団体	学校の先生とも総合の授業の中で取り入れられないかとお話を進めていたが、現在の団体では実施しないことになったため、今後継続していくかは検討中である。またすでに学校教育と連携している別の団体と連携するなどして実施できないかも検討を進めている。

5 大濠舞鶴公園パトロール隊

発言者	発言内容
委員	年度当初にお話を伺ったときとくらべて、随分と活動が広がっているようを感じた。自分も一度参加したが、こどもたちが非常に楽しそうに参加しているのが印象的だった。少しではあるが、活動中に環境の話をされていたが、こどもたちがごみ拾いだけでなく、ひとつふたつでも、その後の日常生活を変化させることにつながるものを探えていただけないと良いのではないか。または環境に詳しい方から日常的にできることを簡単にでも話してもらうなどがあると意義も深まるように思う。発表の中にあった外国人のマナーに関する課題は、市と連携するなどしながら進めさせていただきたい。
委員	週一回活動されているということだが、天候を理由として中止はどのようにアナウンスされているのか。どのくらいの時間をかけて何時頃から実施しているのか。
団体	パトロール隊員のLineグループがあるので、そちらでお知らせしている。パトロールが目的でもあるので暗くなつてから、夏場は7時半から、冬場は7時から実施している。時間的には1時間から1時間半程度かけて行っている。
委員	補助金を受けられる前は代表の個人のお金をあてていらっしゃるとのお話だったが、今回の補助金は主にどのような使い方をされたのか。
団体	トングやビニール袋、予備の軍手、予備の懐中電灯をそろえた。申請時にお話ししたパトロール隊のユニフォームは、可能な限り予算を押さえて作成した。

6 水と緑の楽校

発言者	発言内容
委員	評価委員の意見を取り入れ、活動に活かし、またご報告いただいた点が良かった。当初は川辺で遊ぶことや草刈がメインなのかと感じていたが、地道に活動をされることで地域への拡がりにつながっていることが発表からよくわかった。今後も他の地域に展開していく予定のことだが、活動場所である樋井川以外でもさらに拡げていただきたい。
委員	公民館での出張講座がとても良いと思った。自分も学生と室見川付近の早良公民館で活動しており、興味深かった。シロウオの産卵数が減少している点は新聞にも掲載されていた。造成の活動には120名参加されているとのことだが、来年はどのような予定なのか。
団体	自然のものなので難しいが、文化としてできるだけ残していきたいとい

	う想いを持っている。また人の手を加えることで、地域の方や福岡の人たちに、シロウオが室見川で育っているということを体感していただける活動を続けていきたいと考えている。
委員	代表のリーダーシップが大きいのかと思う。学生や地域を巻き込みながら良い雰囲気を作られているようだが、地道に時間をかけてきた成果だと感じているか。
団体	長く活動を続けてきたが、最近では近所の方や地域の学校の先生方の中にごみ拾いや草刈を自主的に行ってくれる方が見られるようになった。自分たちが川の整備に手を出しても良いということが伝えられた成果だと思う。

<会長講評>

廃棄物、自然環境、SDGsなどさまざまな活動があり、また対象もこどもから大人まで様々であった。コロナ下では活動の制約や人を集めイベントの開催自体が難しいなど困難な面があったと思うが、今年の発表ではその点が解消され、活動されるうえでも非常に良い点だった。今年度当初のプレゼンでは、本当に開催できるのか、人が集まるのかという事業もあり心配していたが、多くの方が参加され、活動も広がっていると感じている。今後も多くの方に参加いただきながら、活動をつなげ、ひろげていただきたい。また、市においては、こういった団体や活動の成果を市民のみなさんにお知らせする機会を設けていただきたいと思う。